令和7年7月29日

佐渡市水道事業
佐渡市長 渡辺 竜五 様

佐渡市水道運営審議会長

水道料金改定について（答申）

令和7年7月4日付け、佐水第601号で諮問のあった水道料金改定について、本審議会において審議した結果、下記のとおり答申します。

記

1 答申にあたって

当市の水道事業は、昭和28年に創設され現在は99%まで普及し、安心・安全な水道水を安定して給水することに日夜努力されている。

現在、少子高齢化とライフスタイルの変化などにより、水需要が減少していることから、給水収益の減少が進んでいる。また、ほぼ同時期に建設した水道施設も老朽化が進んでおり、更新時期を迎え耐震化への取り組みも含め整備していく必要がある。

離島ゆえの地理的条件や、広大な面積を有する集落に水源が豊富にない中で水道事業のため、管路延長を含め施設など他市と比較にならない程多い現状がみられる。今後も施設の統合等、経費の削減による経営努力を引き続き行なう必要はあるが、決定的な削減とはならない状況にある。

独立採算の原則はほぼ不可能な状況であり、このままでは今後において当市の水道事業が経営困難となる見通しから、水道料金の改定について審議し答申するものである。

2 審議内容

料金改定について

料金改定が平等な負担、偏らない負担となるよう従来の料金体系を維持し、基本料金・従量料金を一律に上げる方法での検討を行った。水道料金収入は、令和6年度との比較で令和12年度には119,000千円の収入減少が予想され、今後の経営維持が困難となり、一定の料金改定が必要であることは明確である。

料金算定期間を令和12年度までの5年間とし、日本水道協会「水道料金算

定要領」を参照し検討をおこなった。

料金改定率を40%とした場合、20%とした場合について試算を行い審議した。

改定率40%とした場合、経営状況が大幅に改善されるが、市民への水道料金負担額が急激に増加する。改定率を20%にした場合、一定の経費削減を引き続き継続することで経営状況はある程度の改善が見込まれる。

次に、令和12年度までの5年間で料金改定を1回で実施するか、改定年度を2回に分けて実施するかの検討を行った。

次に、基本水量を5^m³、8^m³、10^m³とした場合について、それぞれのケースで試算を行い審議した。

① 料金改定率

- ・40%改定 年間約490,000千円増額
- ・20%改定 年間約240,000千円増額

② 改定の年度、回数

- ・20%改定を令和8年度に実施
- ・10%改定を令和8年度、令和10年度の2回とし段階的に実施（2回併せて20%改定）

③ 基本水量の設定

- ・月基本使用量5^m³
- ・月基本使用量8^m³
- ・月基本使用量10^m³

3 答申事項

料金改定による更なる負担増は全国でもトップレベルの水道料金となり、非常に厳しいが、水道事業が継続困難にならないため、やむを得ないものとし、下記のとおり答申する。

(1) 水道料金改定について

① 料金改定率

- ・水道料金改定率 20.0%

② 改定回数

- ・2回（令和8年4月1日、令和10年4月1日）
10%改定を令和8年度、令和10年度の2回とし段階的に実施

(2回併せて20%改定)

③ 基本水量の設定

- ・基本水量設定 10 m³

※「臨時給水」、「船舶給水用」、「私設消火栓」についても同様の改定率とする。

※改定案料金表は、別表1，別表2のとおり

別表1

水道料金改定案 料金表

令和8年4月1日から

(税抜)

種別	用途及びメーターの口径		基本料金	水量料金
			10立方メートル まで	1立方メートルに つき
専用及び共用給水装置	一般用	13ミリメートル	1,887	260
		20ミリメートル	1,928	260
		25ミリメートル	3,144	260
		30ミリメートル	4,296	260
		40ミリメートル	7,125	260
		50ミリメートル	12,887	260
		75ミリメートル	25,038	260
		100ミリメートル	46,410	260
	臨時給水	25ミリメートル以下	4,400	461
		30ミリメートル以上	8,800	461
	船舶給水用		260	
私設消火栓	演習用	1栓放水時間5分ごとに2,200円		

別表 2

令和10年4月1日から

(税抜)

種別	用途及びメーターの口径		基本料金	水量料金
			10立方メートルまで	1立方メートルにつき
専用及び共用 給水装置	一般用	13ミリメートル	2,058	283
		20ミリメートル	2,103	283
		25ミリメートル	3,429	283
		30ミリメートル	4,686	283
		40ミリメートル	7,772	283
		50ミリメートル	14,058	283
		75ミリメートル	27,314	283
		100ミリメートル	50,629	283
	臨時給水	25ミリメートル以下	4,800	502
		30ミリメートル以上	9,600	502
	船舶給水用			283
私設消火栓	演習用		1栓放水時間5分ごとに2,400円	

4 附帯意見

- (1) 一般家庭の多くが口径13mmであるが、事業所等の大口径の50mmや75mmも含め、不公平感を軽減できる一律で改定することが望ましい。
- (2) 今後の維持管理経費、施設更新費用等を考慮するとやむを得ないと思慮するが、市民への急激な負担とならないよう配慮すること。
- (3) 社会情勢や水道施設統合を含めた更新など、常に将来を見据えた計画を立て、その上で料金を設定し計画的な整備を進め、企業債残高や現金残高など妥当性を考慮しながら事業経営をすること。
- (4) 上水道は市民生活、産業活動に密接関係していることから、十分な周知期間を確保し料金改定の趣旨や内容を解りやすく市民、事業者にも周知す

- ること。
- (5) 当市の経営努力では限界がきているため、離島の厳しい状況を鑑み各種交付金等、国・県へ、市の実情に合わせた支援要望をさらに強く行うこと。
- (6) 更なる運営経費の削減と水道料金収納率の向上に努めること。
- (7) 料金改定は更なる市民の負担増となる。近年の物価高騰を踏まえ市民や事業者の生の声を聴き、繰入金による補填など市民の負担増分を軽減する努力をしてもらいたい。その努力でも必要経費を賄えないため、料金改定を行うことについて理解を求めるような対応を要望する。
- (8) 料金改定を市民へ周知する際はあらかじめ1回目の改定、2回目の改定時期等を最初に説明し、市民を不安にさせないような配慮すること。

5 審議経過

年度	回	開催日	審議内容
6	第1回	令和6年8月28日	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度水道事業決算について 国中地区施設統合整備基本計画について 水道料金改定スケジュールについて
6	第2回	令和7年2月25日	<ul style="list-style-type: none"> 令和7年度水道事業概要について 収益確保のための取り組みについて
7	第1回	令和7年5月27日	<ul style="list-style-type: none"> 佐渡市水道事業の経営状況について 水道料金改定スケジュール
7	第2回	令和7年7月4日	<ul style="list-style-type: none"> 現状分析と料金改定(案)について
7	第3回	令和7年7月23日	<ul style="list-style-type: none"> 料金改定について 答申(案)の検討について
7		令和7年7月29日	<ul style="list-style-type: none"> 答申